

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設 設
指定管理者
指定期間
施設所管課

(三崎漁港)本港特別泊地・本港環境整備施設	
スバル興業株式会社	
H23.4.1	～ H28.3.31
水産課	(東部漁港事務所)

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

C

(総合評価の基準)

- A：極めて良好な管理運営状況である。
(「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合)
- B：良好な管理運営状況である。
(Cが1つ以下でDがない場合)
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
(Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合)
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
(Dが2つ以上の場合)

<p><1 管理運営等の状況> 提案に基づいて施設運営を適切に実施したほか、的確な荒天対策の実施や大型フェンダーの無料貸し出しを行うなど、安全安心面で水準の高い取り組みを実施した。また、地元開催ヨットレースやイベント等に積極的に貢献することにより地元との信頼関係を築き、うらり周辺への集客面でも一定の成果を上げるなど、良好な管理運営状況である。また、地域の魅力発信のため「三崎下町・グルメ情報MAP」を引き続き無料配布し好評である。</p> <p><2 収支状況>4月下旬の海上釣り堀のオープンにより、前年同期に比して40%を超える収入増となった。しかし近隣駐車場との競合により、公募時の収入には遠く及ばず、一方で、人件費等の固定経費の比重が高いため節減可能な経費は極めて限定的であり、指定期間中の収支の改善の見通しは非常に厳しいと言わざるを得ない。</p> <p><3 利用状況>4月下旬の海上釣り堀のオープンにより、駐車場の利用が前年同期に比べて50%以上伸びた。</p> <p><4 利用者の満足度>今期は実施していない。</p> <p><5 苦情・要望等>ほとんどが駐車場精算機に関するものであり、緑化協力金の制度がわかりにくいとの内容である。その都度丁寧に説明しているほか、張り紙を多数掲示して注意を喚起している。当該精算機は型式が古く、精算を開始したあとに緑化協力金の拒否ができない仕組みとなっているため、指定管理者の費用で緑化協力金相当額を支払うケースも散見された。現状の収支状況では精算機の改修は困難であり、苦情の解消は難しい。</p> <p><6 事故・不祥事等>利用者の操船技術の未熟による操船ミスが目立ったが、幸い予防安全に重点を置いた取り組みが奏功し、指定管理者に起因する事故は発生しなかった。</p> <p><今後の方針等>引き続き専門性を活かした質の高いサービスの提供と、地域貢献に取り組み収支の改善に努力されたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価

B

(評価の目安)

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載 安全・安心で快適な施設の維持管理及び運営を行うため、予防保全に重点を置いた点検・修繕を実施する。	実績又は今後の見込みを記載 ・転倒事故防止のため、駐車場表示看板の照明配線を地上から上空に変更した。(4月) ・交流広場四阿の高圧洗浄を実施した。(5月) ・風雨が予想される際は事前の片付けや飛散防止等の対策を充分実施した。(5～6月) ・除草作業中に蜂の巣を2つ発見し、駆除した。(8月) ・念を入れた荒天対策が奏功し、台風による被害なし。(9月)

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載 ・顧客満足度の高いサービスの提供により、利用者へのサービス向上を図る。	実績又は今後の見込みを記載 ・無料貸出用大型フェンダーを配備した。 ・海上釣り堀の開業に伴い、特別泊地の一部を乗下船場所として提供した。(4月～) ・駐車場案内看板を更新した。(4月) ・利用船舶の機関不良に対し、バッテリーを貸し出しエンジン始動に成功した。(9月)
3 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載 ・プレジャーボート、自動車での利用者の地元周辺地域への誘導を図るため、海・水辺の魅力情報や三崎漁港の魅力情報などを広く一般に発信し、指定管理施設の価値向上に努める。	実績又は今後の見込みを記載 ・ホームページやツイッターで地域の魅力を広く発信した。
4 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載 ・ヨットレース開催実績を活かして、地元ヨットレースやイベント等への開催協力を行う。	実績又は今後の見込みを記載 ・城ヶ島マリーナ主催ヨットレースにてジャジボランティア協力。(4月) ・けんのすけCUP 係留サポート、賞品協賛。(4月) ・TOKYO'S CUP 利用料協賛(7月) ・三浦海のフェスティバル、三崎港サマーフェスティバル運営実施。 ・北条・里見水軍ヨットレース運営協力。(8月)
5 (自主事業)	提案内容の要旨を記載 ・地域活性化、三崎漁港多目的利用の促進を目的に、ヨットレース・海のフェスティバルの開催協力、ガイドマップの作成、配布及びブルーツーリズムを推進する。	実績又は今後の見込みを記載 ・利用者のための利便施設として、交流広場に自動販売機の設置を継続した。 ・三崎下町グルメマップの情報を充実し、引き続き無償で配布している。 ・交流広場で新たにレンタルバーベキュー事業を開始した。(7月～) ・公募時に計画したヨット体験スクール等については、資金面、地元調整等になお課題を残すが早期実施に向けて前向きに取り組んでいる。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考(指導事項等)
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月23日	○	○	—	無	
5月	6月7日	6月25日	○	○	—	無	
6月	7月10日	7月31日	○	○	—	無	
7月	8月8日	8月26日	○	○	—	無	
8月	9月9日	9月24日	○	○	—	無	
9月	10月8日	10月31日	○	○	—	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価 **D**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計	うち納付金		
募集時の県積算額 (参考)			30,950		30,950	30,899	1,700	51
年度計画	前年度	0	12,000	1,500	13,500	29,014	899	▲ 15,514
	上半期		7,200	900	8,100	14,507	440	▲ 6,407
	下半期		4,800	600	5,400	14,507	435	▲ 9,107
	今年度	0	12,000	1,500	13,500	28,684	875	▲ 15,184
	上半期		7,200	900	8,100	14,342	440	▲ 6,242
	下半期		4,800	600	5,400	14,342	435	▲ 8,942
上半期実績	4月		1,105	177	1,282	2,481	440	▲ 1,199
	5月		1,477	135	1,612	2,007	0	▲ 395
	6月		1,087	108	1,195	1,940	0	▲ 745
	7月		1,330	153	1,483	2,020	0	▲ 537
	8月		1,824	194	2,018	2,062	0	▲ 44
	9月		1,100	143	1,243	1,931	0	▲ 688
	上半期合計	0	7,923	910	8,833	12,441	440	▲ 3,608
	対収支計画比		10.0%	1.1%	① 9.0%	② ▲ 13.3%	③	▲ 25.2%
参考	前年度 上半期実績合計		5,562	708	6,270	11,697		▲ 5,427
	対前年度 上半期実績比				40.9%	6.4%		

※その他収入の内容 駐車場サービス券売上

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	○	照明灯点灯時間のきめ細かな管理による電気料の節減を図ったほか、修繕用在庫部品、消耗品等の節減に努め、結果として計画に対し13.3%の節減となった。
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	○	駐車場収入が公募資料に比して60%を超える減収となっている反面、経費のほとんどが人件費等の固定経費であり、安全な施設運営を考慮すると経費の節減には限度があるため。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 5万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	123	交流広場駐車場区画線補修工事（123,013円）
下半期	0	
合計	123	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 **A**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で)

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で)

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	3,532 人	2,801 人	126.1 %
5月	3,824 人	2,798 人	136.7 %
6月	3,012 人	1,717 人	175.4 %
7月	3,263 人	1,967 人	165.9 %
8月	4,525 人	2,980 人	151.8 %
9月	3,076 人	2,148 人	143.2 %
合計	21,232 人	14,411 人	147.3 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	21,232 人	14,411 人	— 人	① %	② 147.4 %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	21,232 人	14,411 人	0 人	%	47.4 %

※目標値の設定の有無

期間	設定していない	その他の場合の期間	
基準	リストから選択	その他の場合の基準	

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)		
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	平成25年4月から三崎漁港内で海上釣り堀がオープンし、ゲストバスの一部を乗下船場として協力しているため、駐車場の利用者が増加した。

<参考>

施設の最大利用可能人数

	駐車場	特別泊地					合計
定員(1日あたりの延べ人数)							
年間利用可能日数							
最大人数							
半期							

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 -

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

- A：80%以上
- B：60%以上～80%未満
- C：40%以上～60%未満
- D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上
- ：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果						0	0 ()

※今年度の実施予定

※配布・回収件数

※実施方法

上半期 回

下半期 1 回

その他

配布 件

回収 件

回収率 %

利用者等に配布

利用者等に配布

利用者等に配布

利用者等に配布

5 苦情・要望等

評価 B

(評価の目安)

- A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。
- B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。
- C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。
- D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	35	0	0	0	0	35
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	駐車場精算機の不具合	その都度迅速に対応。
職員対応		
事業内容	夜間も利用させて欲しい	利用時間は県条例で決まっていることを説明。
その他	緑化協力金制度への苦情多数	張り紙掲示。場合により指定管理者が納付。

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した(事故等が発生していない場合も含む)。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
2013. 5. 5	離岸時に他の船に接触しアウトリガーが破損。	指定管理者の指示をまたず、操船技術が未熟な利用者が勝手に離岸しようとして他船に接触。	指定管理者側に瑕疵なし。当事者同士の話し合いにより事故処理を行った。
2013. 6. 27	レンタルボートが離岸時に停泊中の指定管理者の作業船と接触、作業船の補機ブローパワと当該レンタルボートの外板が損傷。	レンタルボート船長の操船ミスによる接触。	指定管理者側に瑕疵なし。レンタルボートは航行可能なためホームポートへ帰港した。所属マリーナと連携して迅速に事故処理を行った。
2013. 7. 21	着岸中に無理に陸に上がろうとして落水。怪我なし。	船が着岸しきれないうちに陸に飛び降りようとして海に落ちた。	指定管理者に瑕疵なし。居合わせた海上保安部員と協力して陸に引き上げた。今後は船の着岸が終わるまでは陸に上がらないようアナウンスする。
2013. 9. 14	停泊中の船に他の船が接触。	船長の操船ミス。本来ギアを後進に入れるべきところ、前進のまま加速してしまい停泊中の船に接触した。	指定管理者側に瑕疵なし。当事者同士の話し合いにより事故処理を行った。

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		